

今日夜7時より
市民館3階
金曜日

みんなでつくろう
みんなの会館
三人よれば何とかの知恵

夜間学校

西成区萩之茶屋2-5-23
釜ヶ崎解放会館内釜ヶ崎分館
TEL 632-4273 夜間
釜ヶ崎夜間学校

京都にいる仲間の話

京都駅で逮捕され

追いつてられてる

京都駅で寒さをしのいでいる人達が、鉄道公安官や京都府警七条署員らによって、軽犯罪法や鉄道営業法違反を名目に、始末書を書かされたり、逮捕されたりしていることが、昨年末、朝日新聞に載った。その記事は京都で配られる京都版にのったので、大阪ではあまり読んだ人はいないだろ

京都駅は観光都市の玄関であり、皇族や外国からの賓客の利用も多いので、放しにすることは出来ない。昨年中だけで五回、一斉取り締まりがおこなわれ、逮捕者延べ十四人、警告者延べ六十三人、うち三人は二度逮捕されている。二の記者を讀んだら、一つも釜ヶ崎に越冬支援に来て

きない問題だ。逮捕し、拘留、起訴という、刑事罰をオドシに使って、書カンをよぎなくさせている人達を追いつてようとするのは差別である。福祉行政の拡充や仕事紹介などの労働行政による対応で、問題解決がはかられるべきだ、と考え、アオカン者から事情を聞き、京都駅や鉄道公安室、七条署に抗議に行った。行進行動には、釜日労や釜ヶ崎差別と闘う連絡会も参加した。

アオカン者から事情を聞いた時に会った人は、十二月二日に逮捕され、一週間程拘留所にいられて、処分保留で出てきた人は、今度、つかまつたら、釜ヶ崎に越冬する仲間と

話した。一、二階の人書いた紙を渡したのだが、その時、ああ、二階の人です、と叫びました。話をよく聞いて、去年八月まで釜に居たという。

そう一人は、釜日労のものです、というところ、釜日さんですか、寒いところ、さういふわが、御苦労です、と挨拶された。話を聞くと、京都の仲間から仕事に行ったり、神田から大塚の飯場にまわされ、三万二千円もらって帰って来たという。年末年始、金があるのが嬉しくて酒を飲みすぎ、体の調子が悪いと、二人とも京都駅で出会った人だ。さて、この事実が示していることはなんなのだろうか。

「人夫出し」まかりとおる?

「労働者派遣事業法案」とは? その意図するものは?

前回 夜間学校 報告

前回(ぜんかい)は久しぶりの夜間学校(やかんがっこう)で、
した。しかし、集まりが悪く、
テーマの「労働者派遣事業法案(ろうどうしやはいしんじぎょうほうあん)」
とは? その意図(いど)するもの(もの)にフ
いて話し合うところまでいざま
せんでした。運営委員(えんぎん)のひとり
として、残念(ざんねん)に思うと同時に深
く反省(はんせい)しています。
やっぱ、はり、なにはともあれ、
毎週金曜日(まいしゅうきんようび)に、きちつと夜間学
校(がっこう)をやつていくことがだいたい
と思(おも)つています。

やま、夜間学校(やかんがっこう)はことしの目
標(めく)を次の二つにきめていきます。

一つは、「人夫出し」の实
態(たい)を明らかにする。もう一つ
は、新今宮小中(しんいまみやこちゅう)の跡地(あとち)を
労働者(ろうどうし)も使えるもの(もの)にしこ
う、という事です。

「労働者派遣事業(ろうどうしやはいしんじぎょう)の問題(もんだい)」
は、まさに、第一(だいいち)番目の目標(めく)
にかかぬわけ(わけ)です。したが
って、くじけることなく、二
水(みづ)からもう、二の問題(もんだい)を扱(あつか)つて
いきたいと思(おも)つています。

みんなが集ま(あつ)ったとき、
つもでくるのが「人夫出し」
は違法(いはう)だし「人夫出し」がピン

ハネするのはけしからん」と
いう意見(いけん)です。二つ目の審問(しんもん)

の集(しゅう)会(かい)のときにも、二のよう
な意見(いけん)がでてきました。

簡単に(かんたん)にいつてしまえば、い

ま政府(せいふ)がやろうとしている(して)る
労働者派遣事業(ろうどうしやはいしんじぎょう)の法制化(はうせいか)は、

わかれわかれのまつとうな主張(しやうちやう)
「人夫出しは違法(いはう)だし」「人夫

出しがピンハネするのはけし
からん」とを、まっ二つから否
定(てい)しようとする(する)ものです。

まり、「人夫出し」を公認(こうにん)し
労働者(ろうどうし)を二水(みづ)まで以上に安く

こき使(つか)おうとしている(して)るのです。
もちろん、「人夫出し」と

いうことは、よりスマート
な「労働者派遣事業(ろうどうしやはいしんじぎょう)」という

ことはにかわつていきます。し
かし、それは二つ目がかわつ

ただけで、実態(じったい)はいっしょで
す。たとえ、派遣(はいせん)される労働

者がコンピユータ関係(かんけい)の労働者(ろうどうし)

であつたとしても、派遣(はいせん)する業

者(しや)が、それによつてもうける

しくみになつていくが、そ

の「業者(ぎやうしや)」は「人夫出し」以外

のなにものでもないでしょう。

日々(ひび)、人夫出し(にんぷだし)の存在(そんざい)に

よつて苦しめられていくわかれ

れとしては、いま行(おこな)つて

る「労働者派遣事業(ろうどうしやはいしんじぎょう)の法制化(はうせいか)

の策動(さくどう)を「人夫出し」の公認(こうにん)代

として受けとめて、政府(せいふ)、資本

の策動(さくどう)をうちやぶつていく斗

を準備(じゅんび)していかななくてはいいけな

いだらう、と思(おも)います。

夜間学校(やかんがっこう)は、よつほどの二

がないが、毎週金曜日(まいしゅうきんようび)、

夜7時から、西成市民館(にしなかしみんかん)の

三階(さんかい)でやります。お気軽

に寄(よ)つてくれませんか。